

2024年度第1四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2024年8月7日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 業績総括
- 2024年度 第1四半期業績
- 2024年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

*今回公表より、キャッシュフロー及び財務指標については、プロジェクトファイナンスを含む金額に変更しております。

2024年度 第1四半期業績

		前年同期比
売上高	5,907億円	△79億円
経常損益	350億円	△8億円
在庫評価影響を除く	340億円	△28億円
親会社株主に 帰属する四半期純損益	240億円	△14億円

2024年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆6,600億円	±0億円
経常損益	1,500億円	±0億円
在庫評価影響を除く	1,395億円	+10億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,200億円	±0億円
フリーキャッシュフロー	△400億円	△400億円

財務指標
2024年度見通し

- ROIC : 6.5%程度 (2023年度: 6.7%)
└ ROE : 10.8%程度 (2023年度: 11.1%)
- 純資産比率 : 40%程度 (2023年度: 38.6%)
- グロスD/Eレシオ : 0.8倍程度 (2023年度: 0.83倍)

株主還元

- 1株あたり中間配当45円、年間配当90円の方針(変更なし)

2024年度 第1四半期業績（前年同期比）

- 素材系事業では、鉄鋼で円安によるメタルスプレッドの悪化や固定費を中心としたコストアップがあるものの、素形材・溶接で価格転嫁が進展。機械系事業では、機械でエネルギー・化学向けのサービス売上が増加。電力事業では、燃料費調整の時期ずれによる増益影響が縮小。経常損益350億円、四半期純損益240億円ともに概ね前年同期並み。

2024年度 業績見通し（前回比）

- 素材系事業では、自動車を中心とした事業環境の悪化により、販売数量の減少、販売構成の悪化を見込む。機械系事業では、建設機械で販売台数の減少を見込むが、機械でサービス売上の増加を見込む。電力事業は、概ね前回公表並み。経常損益1,500億円、当期純損益1,200億円ともに前回公表通り。
- 事業環境の先行きを注視しながら、引き続き、計画した販売数量の確保とコストアップの価格転嫁の取組みを推進する。
- フリーキャッシュフローについては、素形材や建設機械での販売数量の減少に伴う運転資本の増加などにより△400億円となる見通し。在庫の削減など運転資本の適正化の取組みを強化し、営業キャッシュフローの改善に努める。

(単位:億円)	2023年度			2024年度見通し(今回)			増減 ②-①
	1Q ①	上期	通期	1Q ②	上期	通期	
売上高	5,986	12,538	25,431	5,907	12,700	26,600	△79
営業損益	340	921	1,866	310	700	1,650	△29
経常損益	359	916	1,609	350	650	1,500	△8
在庫評価影響を除く	369	961	1,564	340	615	1,395	△28
特別損益	—	277	13	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	254	803	1,095	240	550	1,200	△14

売上高

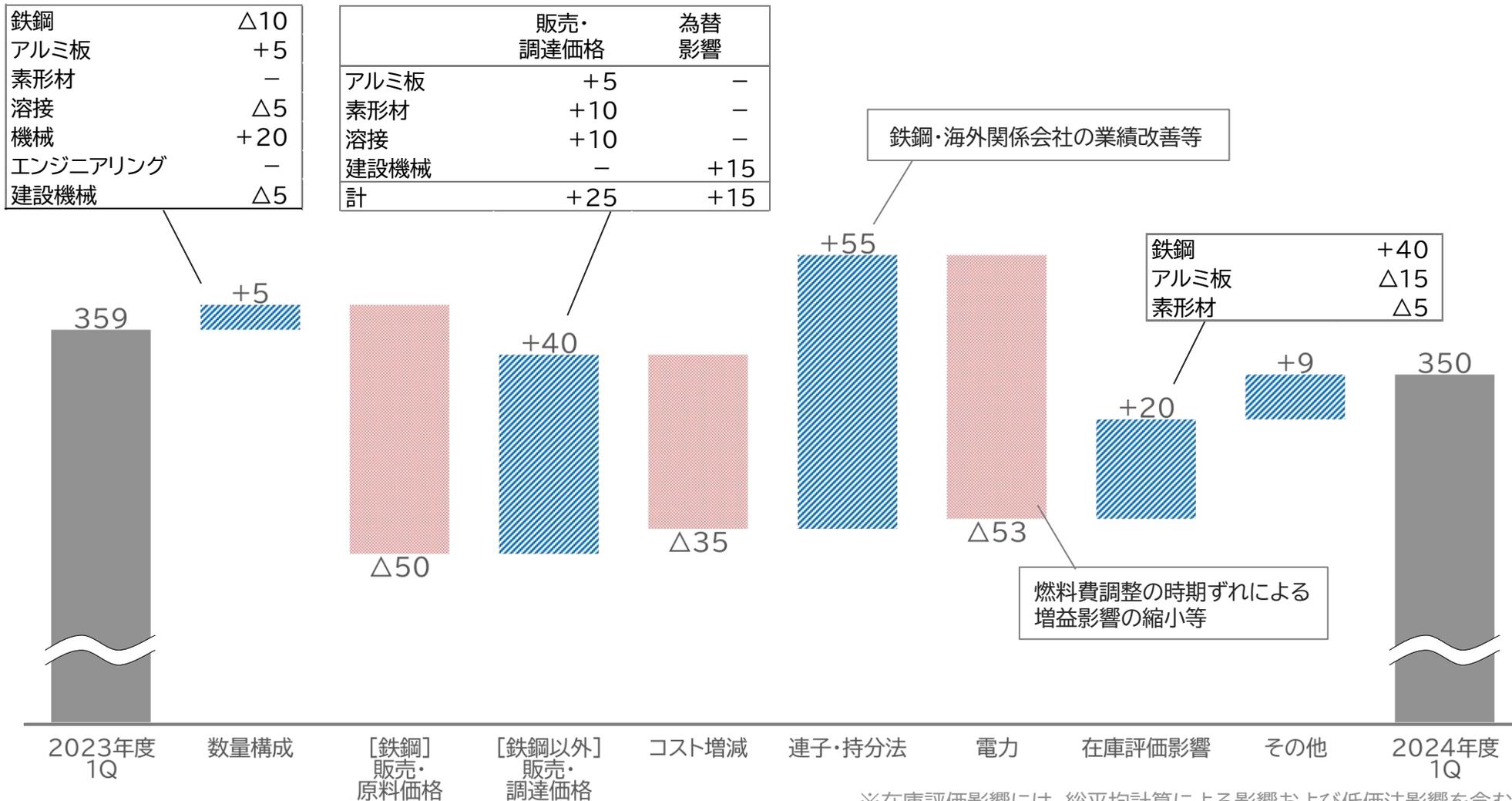
素形材、溶接などで価格転嫁が進展したほか、機械でエネルギー・化学向けのサービス売上が堅調に推移した一方、電力での石炭価格の変動影響などにより、前年同期並み。

経常損益

鉄鋼メタルスプレッドの悪化に加え、固定費を中心としたコストアップや、電力での燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小などはあるものの、機械でエネルギー・化学向けのサービス売上が増加したことなどにより、概ね前年同期並み。

2024年度 第1四半期業績: 経常損益 前年同期比

△8億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 第1四半期業績:各セグメントの状況

	2023 1Q	2024 1Q	差異	
鉄鋼	104	127	+22	円安によるメタルスプレッドの悪化や、固定費を中心としたコストアップなどの減益要因があるものの、原料市況変動に伴う在庫評価影響の改善などにより、増益。
在庫評価影響を除外	139	122	△17	
アルミ板	△19	△18	+0	ディスク材を中心とした販売数量の増加や価格転嫁が進展したものの、在庫評価益が縮小し、概ね前年同期並み。
在庫評価影響を除外	△34	△18	+15	
素形材	8	10	+1	価格転嫁が進展したものの、在庫評価益が縮小し、概ね前年同期並み。
在庫評価影響を除外	△1	5	+6	
溶接	5	10	+5	自動車向けを中心に販売数量は減少するも、価格転嫁の浸透などにより、増益。
機械	43	62	+19	固定費を中心にコストアップの影響はあるものの、圧縮機を中心としたサービス売上の増加や既受注案件の進捗などにより、増益。
エンジニアリング	15	14	△0	前年同期並み。
建設機械	14	17	+2	油圧ショベルでの販売台数の減少や固定費を中心としたコストアップの影響があるものの、円安による輸出採算の改善などにより、増益。
電力	173	120	△53	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小などにより、減益。

2024年度 業績見通し

(単位:億円)	2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			増減 ②-①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	13,000	13,600	26,600	12,700	13,900	26,600	—
営業損益	700	950	1,650	700	950	1,650	—
経常損益	650	850	1,500	650	850	1,500	—
在庫評価影響を除く	600	785	1,385	615	780	1,395	+10
特別損益	—	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	550	650	1,200	550	650	1,200	—

売上高

事業環境の悪化に伴い、素材系事業や建設機械で販売数量の減少を見込むものの、円安による為替影響や価格転嫁の進展、電力での石炭価格の変動影響などにより、前回並みの見通し。

経常損益

販売数量の減少を見込むものの、鉄鋼メタルスプレッドの改善やコストアップに対する価格転嫁の進展などにより、前回並みの見通し。

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車

(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)

国内は、**前年比減少**(2023年度並み)

海外は、**前年比減少**(中国での日系自動車メーカーのシェア減少や東南アジアでの需要減少。2023年度比減少)

IT・半導体

(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)

HDD需要は、**前年比増加**(データセンター向けを中心に回復。2023年度比増加)

半導体関連は、**前年比減少**(需要の回復遅れ)

造船

(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)

前年並み(一定の手持ち工事量は維持も、人手不足や資材高騰の影響が継続し、2023年度並み)

航空機

(チタン、アルミ鋳鍛)

前年並み(老朽機リプレイスや新規建造の拡大が継続中)

飲料用缶

(アルミ板)

前年並み(2023年度並み)

建築・土木

(鉄鋼、溶接)

前年比減少(人手不足や資材高騰の影響が継続。2023年度比減少)

(機械)

エネルギー
・化学

エネルギー(LNG等)や化学・石油化学向けの装置需要は、**堅調に推移**
環境関連需要は、欧米を中心に堅調に推移し、**増加基調**

一般産業

国内は、**堅調に推移**
海外は、中国市場の減速や東南アジア経済の停滞により需要低迷

(建設機械・油圧ショベル)

日本

前回は減少(2023年度並み)

中国

前回は減少(景気後退に伴う工事量の減少。2023年度比減少)

北米

前回は並み(2023年度比減少)

欧州

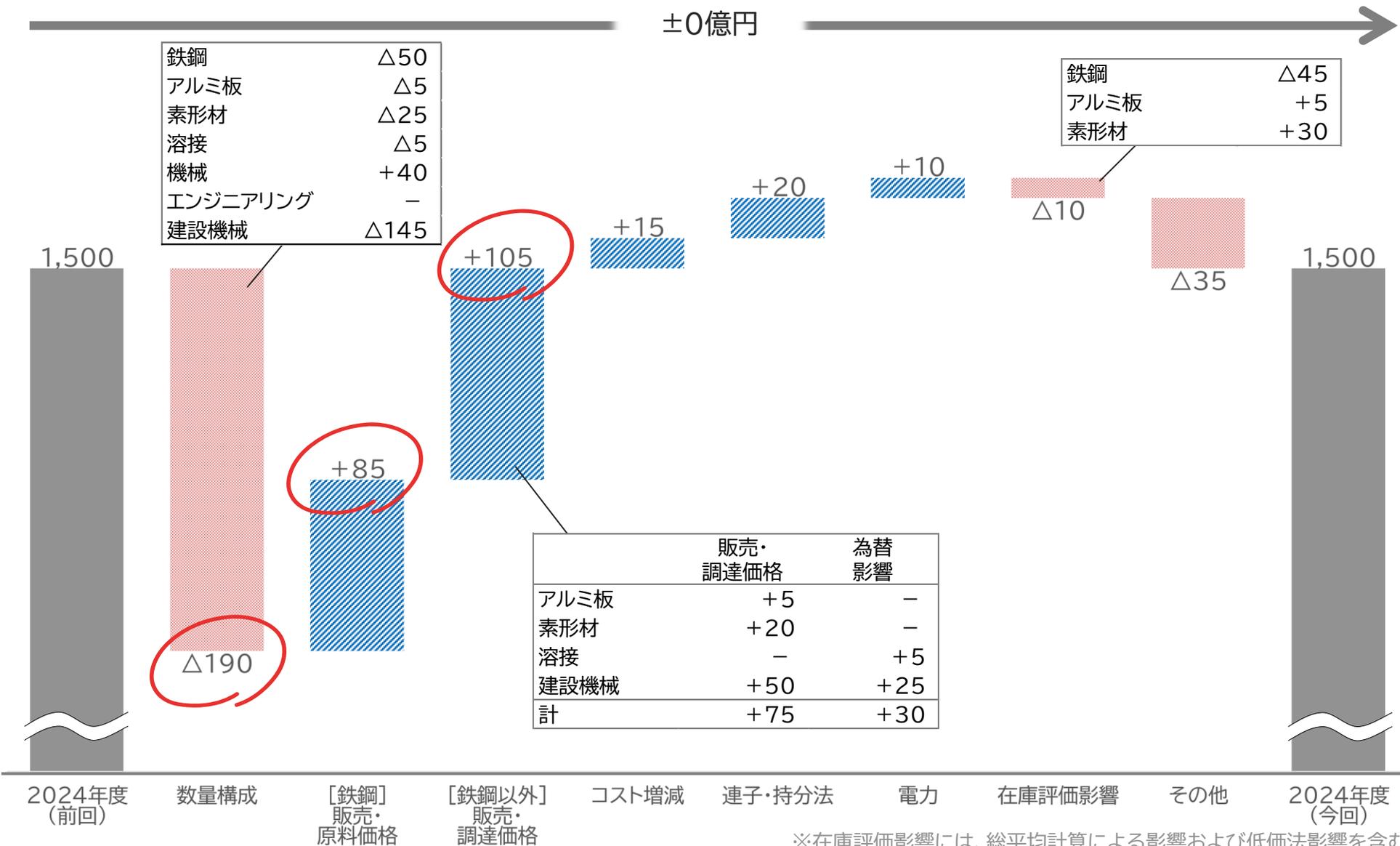
前回は減少(景気後退に伴い需要低迷。2023年度比減少)

東南アジア

前回は並み(2023年度比減少)

2024年度 業績見通し: 経常損益 前回比

±0億円



	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	+5	-
素形材	+20	-
溶接	-	+5
建設機械	+50	+25
計	+75	+30

※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 業績見通し:各セグメントの状況

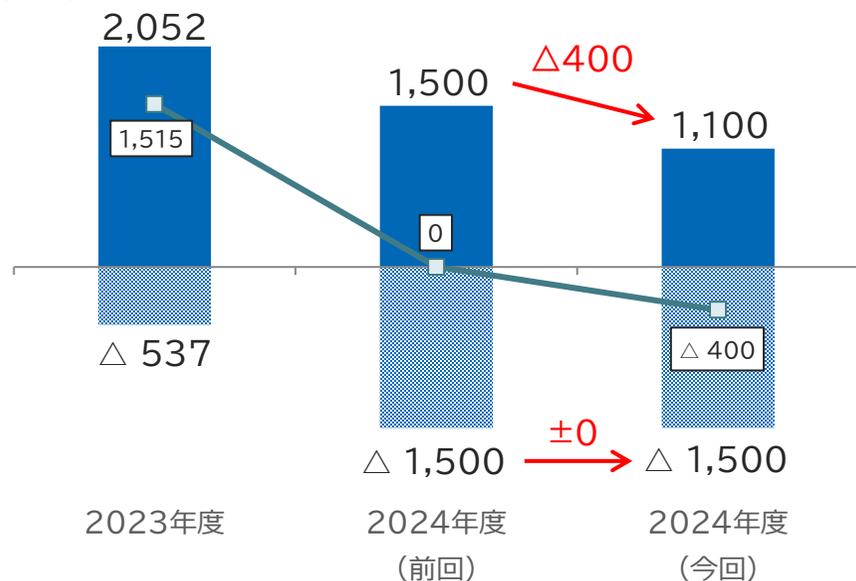
	2024 前回	2024 今回	差異	
鉄鋼	395	390	△5	自動車向けを中心とした需要減による販売構成の悪化や、固定費などのコストアップを見込むものの、メタルスプレッドの改善などにより、概ね前回並みの見通し。
在庫評価影響を除く	270	310	+40	
アルミ板	5	10	+5	自動車や飲料用缶材等で販売数量の減少を見込むものの、価格改善の進展や在庫評価益の計上等により、増益の見通し。
在庫評価影響を除く	5	5	—	
素形材	60	60	—	自動車向けを中心に販売数量の減少を見込むものの、価格転嫁の進展や原料市況の変動に伴う在庫評価益の計上などにより、前回並みの見通し。
在庫評価影響を除く	70	40	△30	
溶接	45	45	—	販売数量は減少を見込むも、為替による増益影響などにより、前回並みの見通し。
機械	285	320	+35	エネルギー・化学向けの受注好調やサービス売上の増加に伴う採算改善などにより、増益の見通し。
エンジニアリング	110	110	—	前回並みの見通し。
建設機械	140	90	△50	欧州での事業環境の悪化や、北米におけるシェア回復遅れによる油圧ショベルの販売台数の減少により、価格転嫁の推進やコスト改善など織り込むも、減益の見通し。
電力	465	475	+10	燃料費調整の時期ずれによる増益影響を見込み、増益の見通し。

- 営業キャッシュフローは、素形材や建設機械での販売数量の減少に伴う在庫の増加などにより、前回比400億円減少の**1,100億円**を見通す。引き続き、在庫の削減など運転資本の適正化への取組みなどにより改善に努める。
- フリーキャッシュフローは**△400億円**となる見通し。

キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー

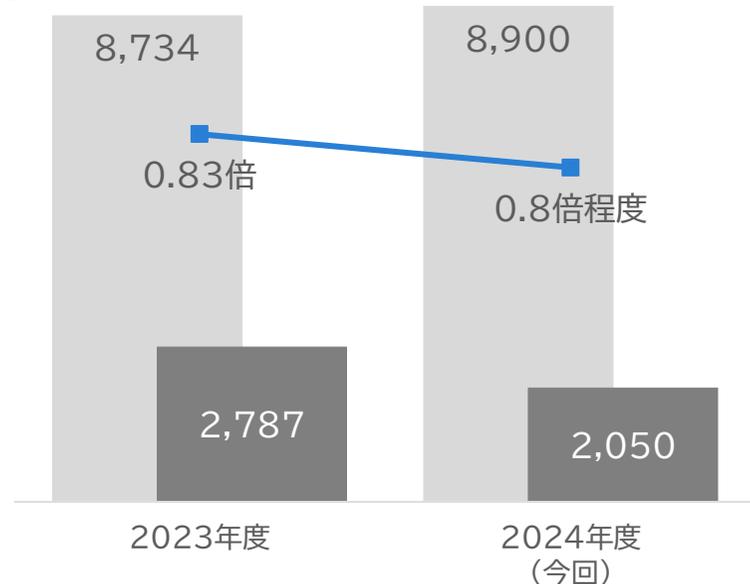
(億円)



グロスD/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む) ■ 現預金残高 ■ グロスD/Eレシオ

(億円)



5月9日公表の「1株につき中間配当45円、年間配当90円とする方針」は変更なし

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要などを総合的に考慮して決定

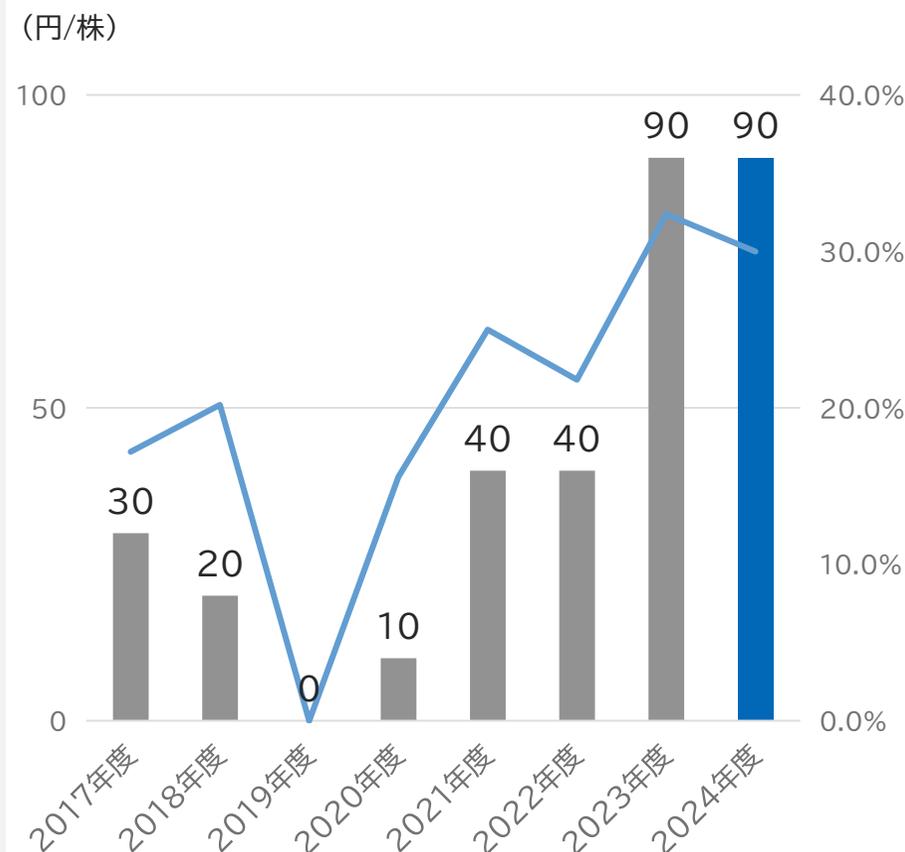
中期経営計画(2024~2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2023年度		2024年度(方針)	
中間	期末	中間	期末
45円	45円	45円	45円
90円		90円	
32.4%		29.6%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

2024年度第1四半期業績・2024年度業績見通し

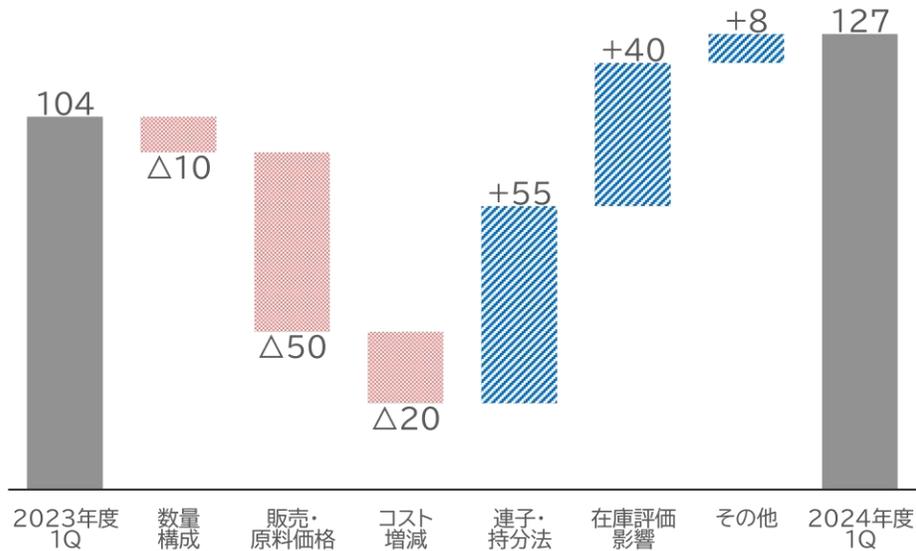


(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
鉄鋼アルミ	2,684	10,827	5,660	5,910	11,570	2,727	5,610	5,950	11,560	+42	+732	△10
素形材	692	2,981	1,590	1,710	3,300	761	1,600	1,820	3,420	+68	+438	+120
溶接	229	935	480	530	1,010	231	480	520	1,000	+1	+64	△10
機械	500	2,345	1,300	1,350	2,650	580	1,290	1,430	2,720	+80	+374	+70
エンジニアリング	349	1,706	830	1,060	1,890	277	720	1,110	1,830	△71	+123	△60
建設機械	883	4,040	2,170	2,180	4,350	929	1,950	2,050	4,000	+45	△40	△350
電力	781	3,159	1,220	1,160	2,380	546	1,340	1,260	2,600	△235	△559	+220
その他	24	108	40	70	110	15	40	70	110	△8	+1	—
調整額	△158	△671	△290	△370	△660	△162	△330	△310	△640	△3	+31	+20
売上高	5,986	25,431	13,000	13,600	26,600	5,907	12,700	13,900	26,600	△79	+1,168	—
営業損益	340	1,866	700	950	1,650	310	700	950	1,650	△29	△216	—
鉄鋼アルミ	85	161	195	205	400	108	205	195	400	+23	+238	—
素形材	8	32	△5	65	60	10	25	35	60	+1	+27	—
溶接	5	49	20	25	45	10	20	25	45	+5	△4	—
機械	43	296	120	165	285	62	135	185	320	+19	+23	+35
エンジニアリング	15	124	60	50	110	14	25	85	110	△0	△14	—
建設機械	14	91	30	110	140	17	0	90	90	+2	△1	△50
電力	173	857	240	225	465	120	260	215	475	△53	△382	+10
その他	13	48	20	25	45	12	20	25	45	△1	△3	—
調整額	0	△51	△30	△20	△50	△5	△40	△5	△45	△6	+6	+5
経常損益	359	1,609	650	850	1,500	350	650	850	1,500	△8	△109	—
在庫評価影響を除く	369	1,564	600	785	1,385	340	615	780	1,395	△28	△169	+10
特別損益	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	△13	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	254	1,095	550	650	1,200	240	550	650	1,200	△14	+104	—

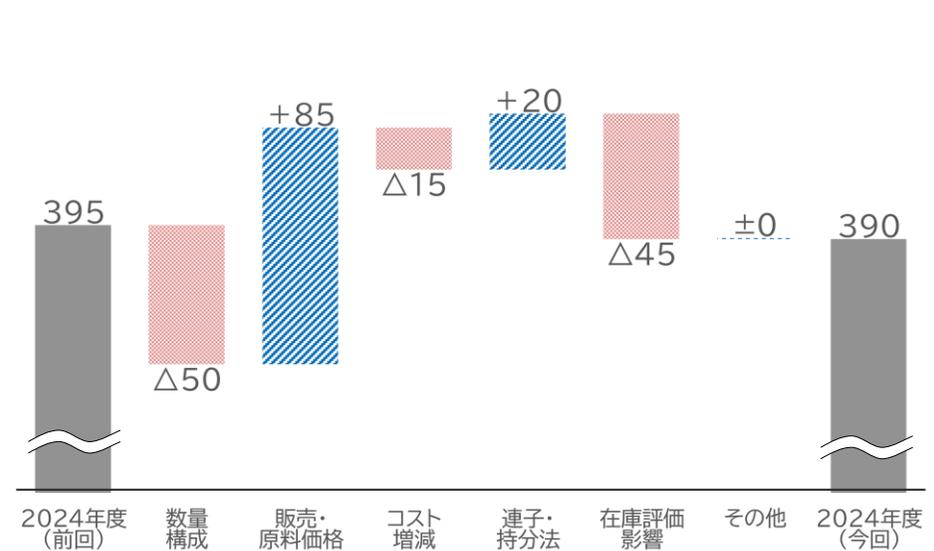
(単位:億円)

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	2,186	8,916	4,650	4,840	9,490	2,244	4,610	4,830	9,440	+57	+523	△50
経常損益	104	392	215	180	395	127	225	165	390	+22	△2	△5
在庫評価影響を除く	139	402	160	110	270	122	205	105	310	△17	△92	+40
粗鋼生産量(高砂含む) [万t]	157	597	300	300	600	150	300	300	600	△7	+3	—
鋼材 販売数量(単体) [万t]	119	469	240	240	480	115	240	240	480	△3	+11	—
(国内)	92	366				90				△2		
(輸出)	27	104				26				△1		
(輸出比率)	21%	22%				23%				+2%		
鋼材 販売単価 [千円/t]	139	143				147				+7		

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)



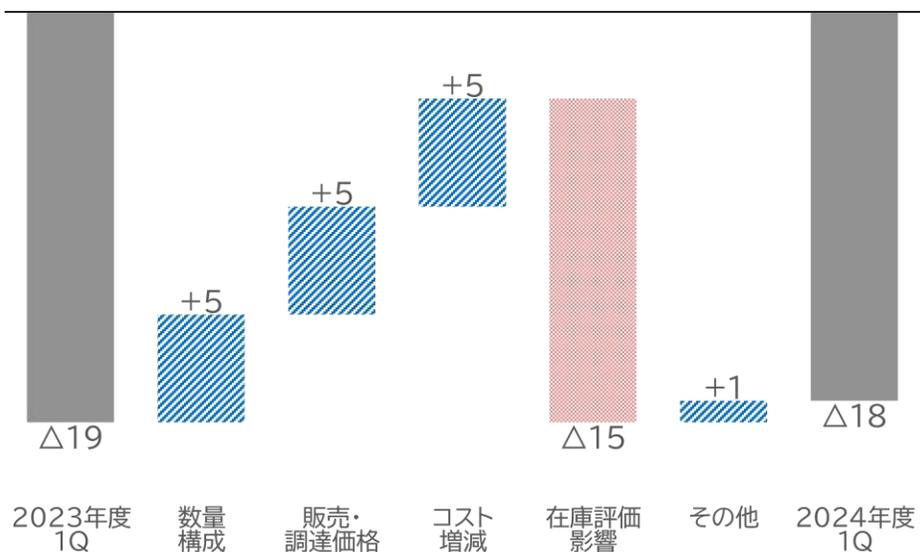
2024年度 業績見通し (前回比)



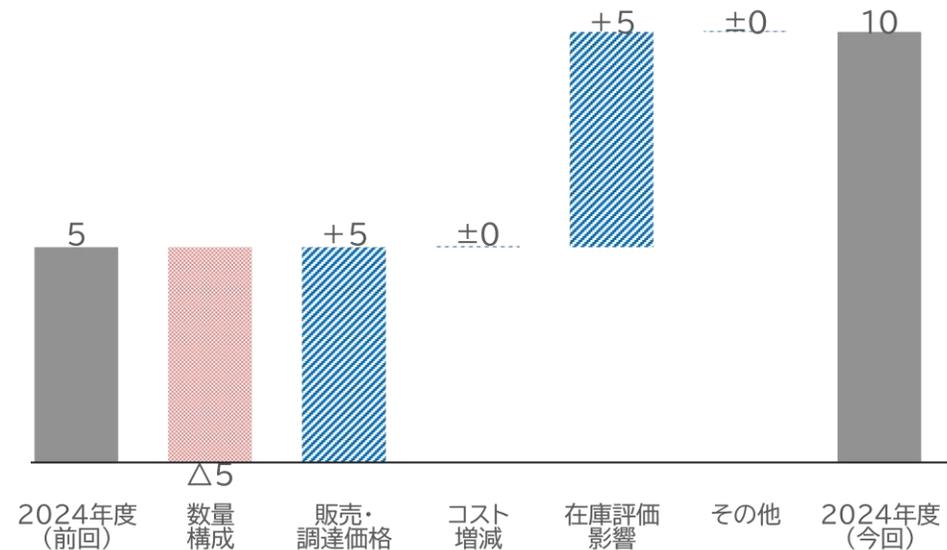
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	498	1,911	1,010	1,070	2,080	483	1,000	1,120	2,120	△14	+208	+40
経常損益	△19	△231	△20	25	5	△18	△20	30	10	+0	+241	+5
在庫評価影響を除く	△34	△251	△20	25	5	△18	△20	25	5	+15	+256	-
アルミ板 販売数量(連結) [千t]	84	314	170	180	350	78	170	170	340	△7	+26	△10
(国内)	60	223				57				△4		
(海外)	24	91				21				△3		

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)



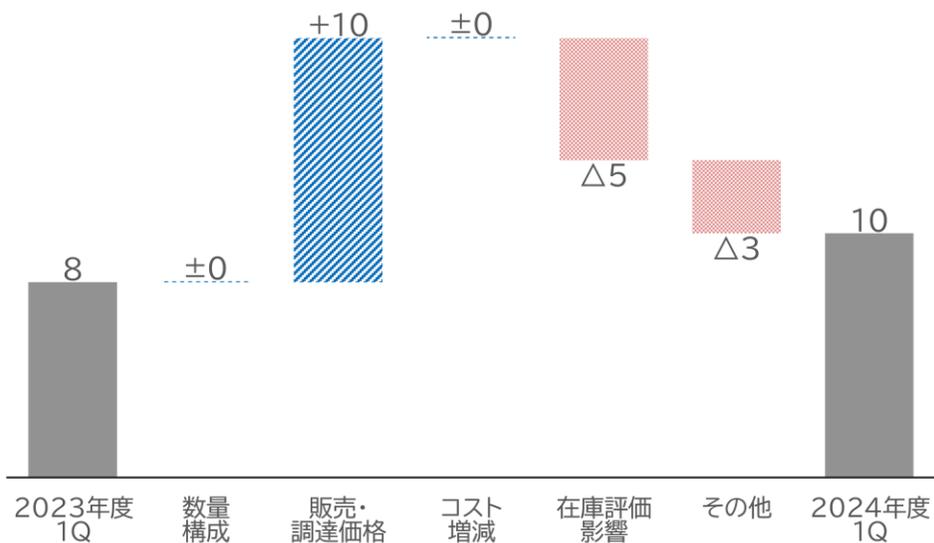
2024年度 業績見通し (前回比)



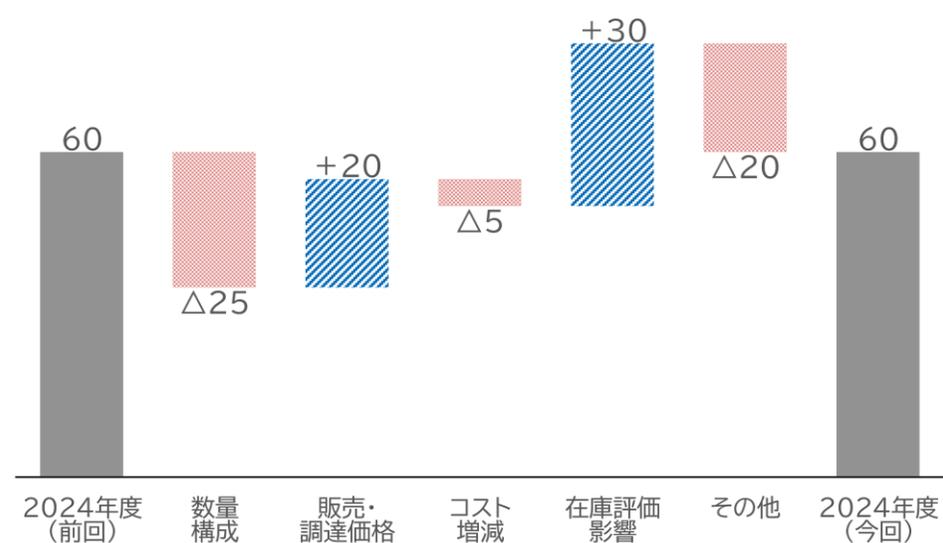
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	692	2,981	1,590	1,710	3,300	761	1,600	1,820	3,420	+68	+438	+120
経常損益	8	32	△5	65	60	10	25	35	60	+1	+27	—
在庫評価影響を除く	△1	△3	0	70	70	5	10	30	40	+6	+43	△30
アルミ押出 販売数量 (連結) [千t]	8	37	21	22	42	10	19	20	39	+1	+2	△3
(国内)	6	29				7				+1		
(海外)	2	9				2				+0		
銅板 販売数量 (単体) [千t]	12	52	29	31	60	13	28	31	59	+1	+7	△1

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)



2024年度 業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	229	935	480	530	1,010	231	480	520	1,000	+1	+64	△10
経常損益	5	49	20	25	45	10	20	25	45	+5	△4	—
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	61	242	120	130	250	57	115	120	235	△4	△7	△15
(国内)	25	105				24				△1		
(海外)	36	136				33				△3		

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)

数量 国内:自動車・鉄骨の需要が減少
海外:東南アジアでの景気低迷により減少

価格 価格転嫁の進展により上昇

コスト 資機材などでコスト上昇

その他 —

2024年度 業績見通し (前回比)

数量 国内:前回並みの見通し
海外:中国やタイを中心に需要減少の見通し

価格 前回並みの見通し

コスト 前回並みの見通し

その他 —

(単位:億円)

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	500	2,345	1,300	1,350	2,650	580	1,290	1,430	2,720	+80	+374	+70
経常損益	43	296	120	165	285	62	135	185	320	+19	+23	+35
受注高	514	2,737	1,250	1,150	2,400	606	1,300	1,300	2,600	+92	△137	+200
受注残高	2,144	2,518				2,542				+398		

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)

受注高 エネルギー・化学分野での好調な需要を受け、増加

経常損益 固定費を中心としたコストアップがあるものの、サービス売上の増加や受注案件の進捗などにより、増益

2024年度 業績見通し (前回比)

受注高 エネルギー・化学向けの好調な需要が継続していることから、産業機械・圧縮機などで増加の見通し

経常損益 圧縮機を中心としたサービス売上の増加や、受注案件の進捗などにより、増益の見通し

(単位:億円)

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	349	1,706	830	1,060	1,890	277	720	1,110	1,830	△71	+123	△60
経常損益	15	124	60	50	110	14	25	85	110	△0	△14	—
受注高	843	2,143	1,200	600	1,800	347	600	1,200	1,800	△496	△343	—
受注残高	4,326	4,336				4,481				+155		

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)

受注高 還元鉄関連事業や廃棄物処理関連事業において大型案件を受注した前年同期と比べると、減少

経常損益 案件構成差はあるものの、前年同期並み

2024年度 業績見通し (前回比)

受注高 前回並みの見通し

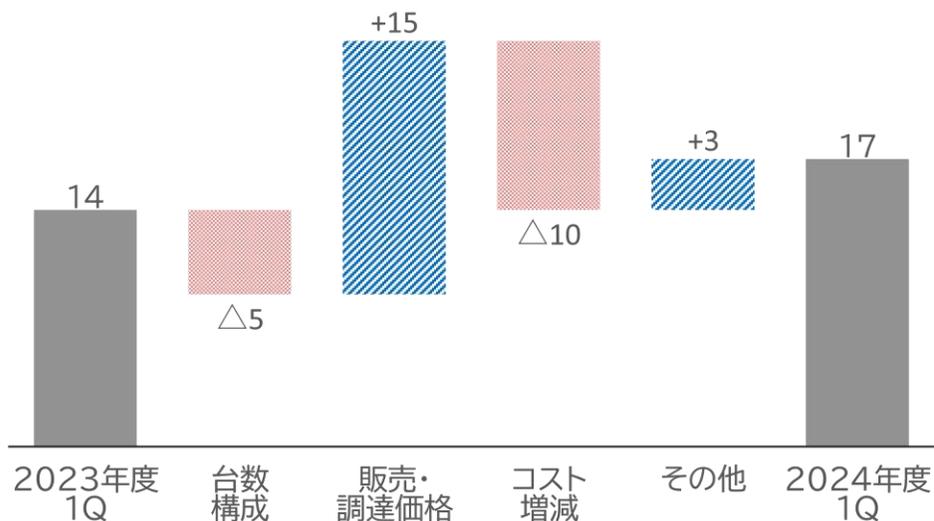
経常損益 前回並みの見通し

(単位:億円)

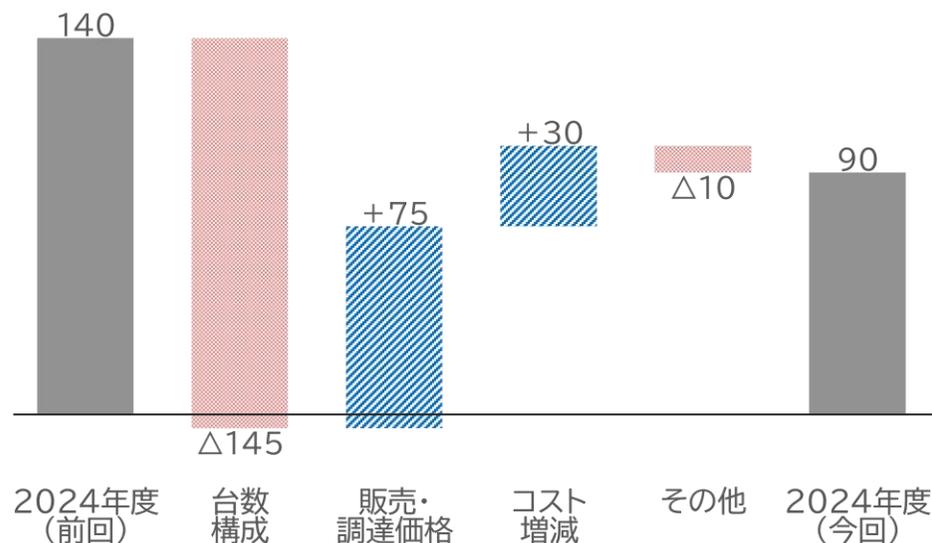
	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	883	4,040	2,170	2,180	4,350	929	1,950	2,050	4,000	+45	△40	△350
経常損益	14	91	30	110	140	17	0	90	90	+2	△1	△50
油圧ショベル販売台数(連結) [千台]	5.6	24.1	12.5	14.0	26.5	4.6	11.5	14.0	25.5	△1.0	+1.4	△1.0
(国内) ※1	1.5	8.1				1.1				△0.4		
(海外)	4.1	15.9				3.5				△0.6		
クローラークレーン販売台数(連結) [台]	45	315	180	190	370	77	170	200	370	+32	+55	—

※1: ミニショベルを含む

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)



2024年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)				2023年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	781	3,159	1,220	1,160	2,380	546	1,340	1,260	2,600	△235	△559	+220
経常損益	173	857	240	225	465	120	260	215	475	△53	△382	+10
燃料費調整の時期ずれ	65	220	10	—	10	20	40	—	40	△45	△180	+30
売電価格に関する一過性の損益影響	—	200	—	—	—	—	—	—	—	—	△200	—

2024年度 第1四半期業績 (前年同期比)

販売電力量 前年同期比で減少

販売単価 石炭市況の変動により、下落

その他 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小などにより、減益

2024年度 業績見通し (前回比)

販売電力量 前回並みの見通し

販売単価 石炭市況の変動により、上昇の見通し

その他 燃料費調整の時期ずれによる増益影響などにより、増益の見通し

参考資料

	2023年度実績				2024年度 (前回)	2024年度 (今回)		
	1Q	上期	下期	通期	通期	1Q	2-4Q	通期
USドル (円/\$)	136.5	142.6	148.0	145.3	145.0	158.2	155.0	155.8
中国元 (円/元)	19.6	19.9	20.5	20.2	20.0	21.8	21.0	21.2
ユーロ (円/€)	147.9	154.8	160.6	157.7	155.0	170.1	165.0	166.3

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

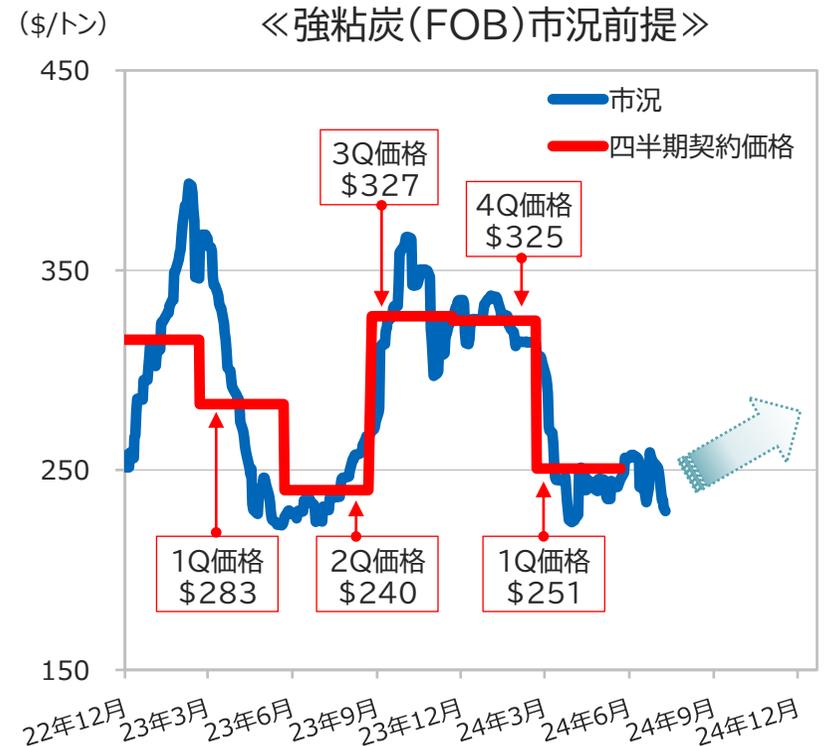
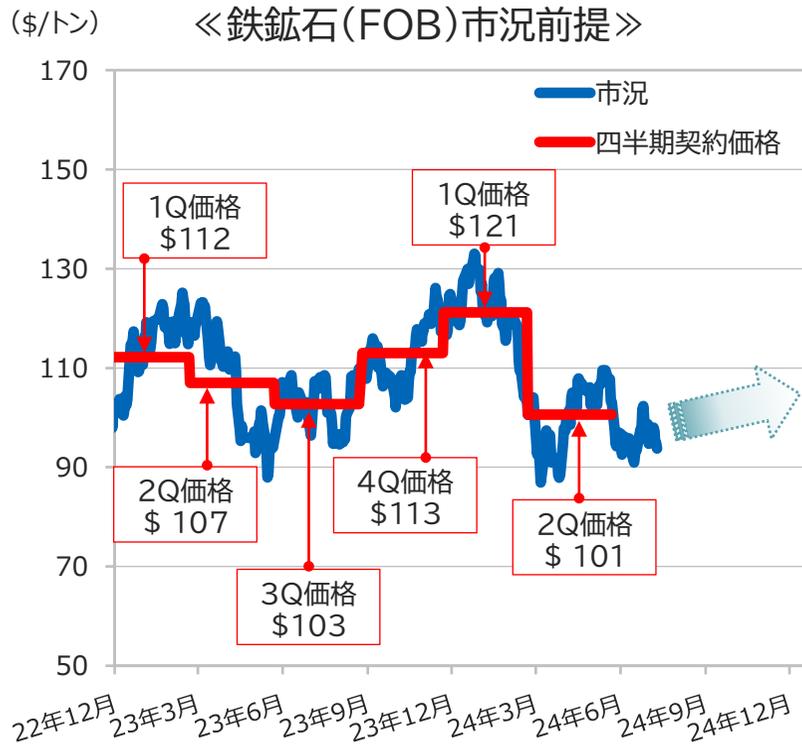
鉄鋼 : Δ 4億円程度(ドルバランスの影響 Δ 10億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+6億円)

建設機械: +2億円程度(ドルバランスの影響+2億円)

ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

建設機械: +1億円程度(ユーロバランスの影響+1億円)

鉄鉱石	2Q価格は\$101で決着済み。下期価格は、2023年度下期並みを想定。
強粘炭	1Q価格は\$251で決着済み。 2Q価格は足元市況を考慮して想定するが、下期にかけて徐々に市況が上昇すると想定。
一般炭	4月から6月にかけて市況は\$130～\$150前後で推移。2Q以降の価格は足元並みで想定。



(単位:億円)

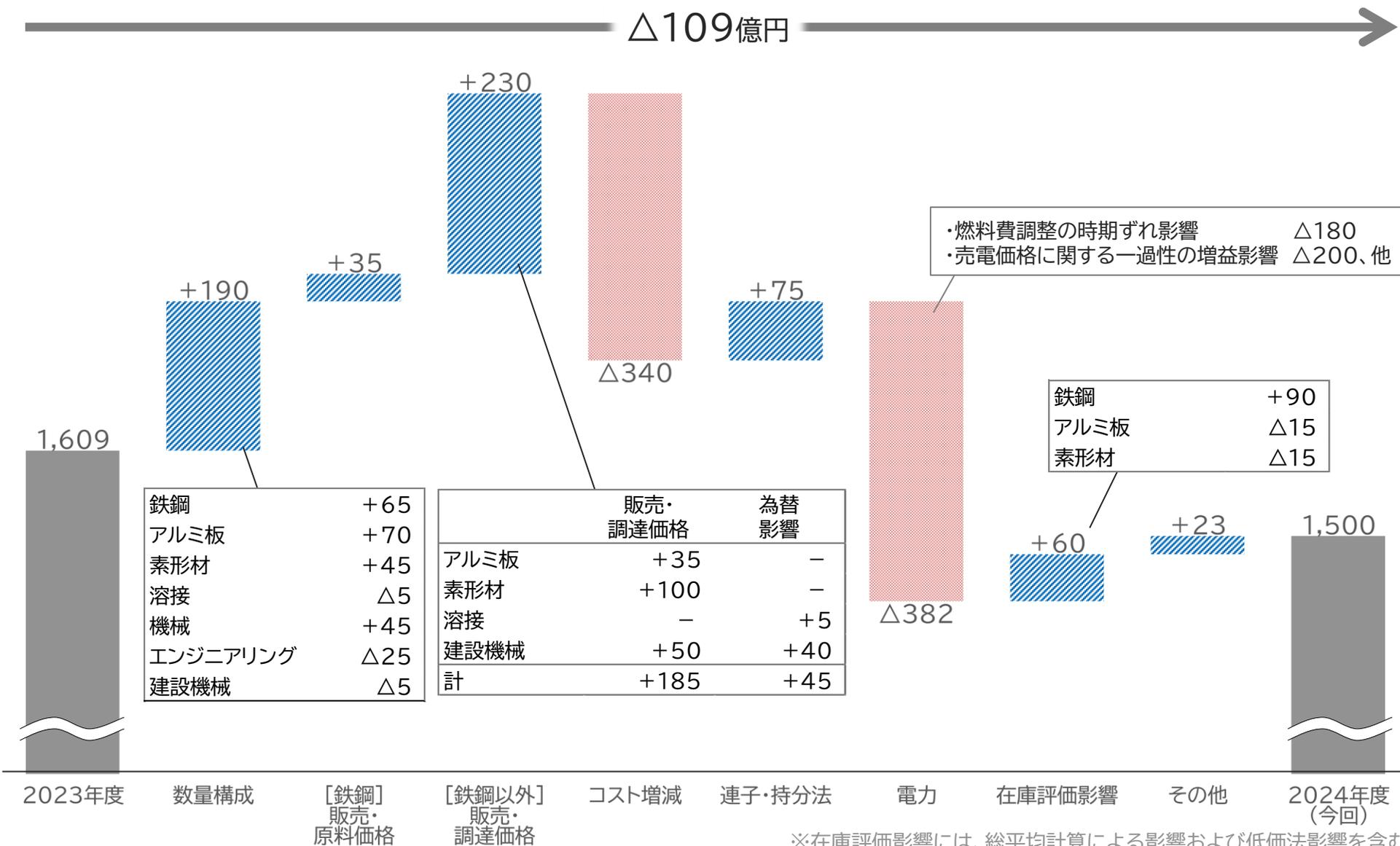
鉄鋼	2023年度				2024年度(前回)			2024年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
鉄鉱石	35	25	10	35	△10	0	△10	15	△20	10	△10
石炭	△10	△20	25	5	10	0	10	△20	△20	15	△5
キャリアオーバー	25	5	35	40	0	0	0	△5	△40	25	△15
総平均	△40	△70	60	△10	55	70	125	5	20	60	80
低価法	5	5	△5	0	0	0	0	0	0	0	0
在庫評価影響	△35	△65	55	△10	55	70	125	5	20	60	80

アルミ板	2023年度				2024年度(前回)			2024年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	15	5	10	15	0	0	0	△5	15	5	20
低価法	0	5	0	5	0	0	0	5	△15	0	△15
在庫評価影響	15	10	10	20	0	0	0	0	0	5	5

素形材	2023年度				2024年度(前回)			2024年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	10	10	25	35	0	0	0	10	20	0	20
低価法	0	0	0	0	△5	△5	△10	△5	△5	5	0
在庫評価影響	10	10	25	35	△5	△5	△10	5	15	5	20

2024年度 業績見通し: 経常損益 2023年度比

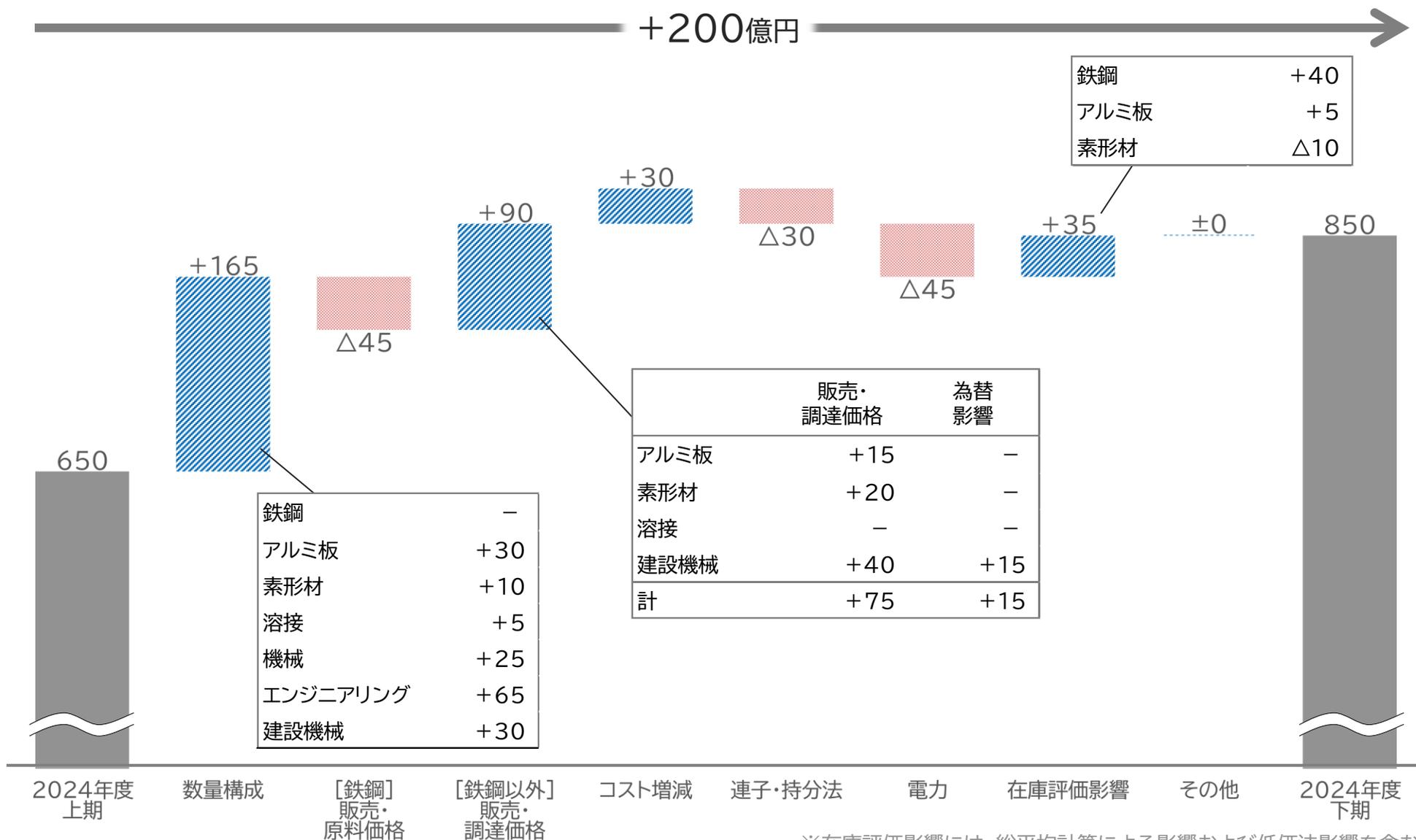
△109億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価格影響を含む

2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳

+200億円



鉄鋼	-
アルミ板	+30
素形材	+10
溶接	+5
機械	+25
エンジニアリング	+65
建設機械	+30

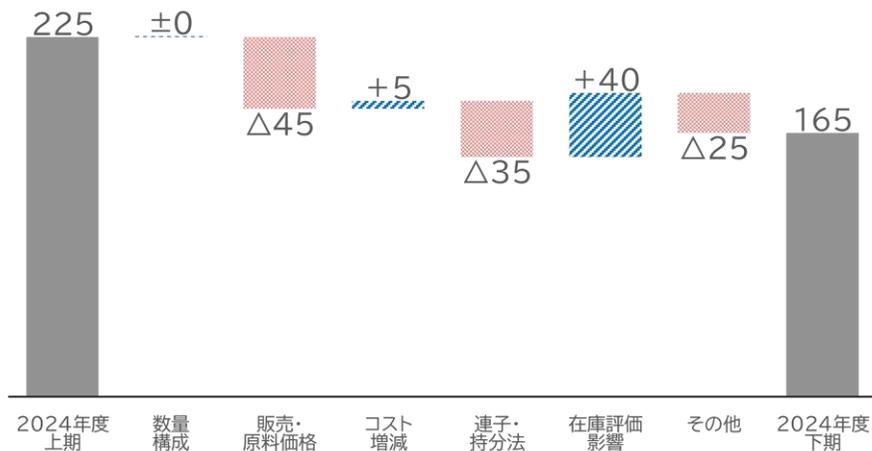
	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	+15	-
素形材	+20	-
溶接	-	-
建設機械	+40	+15
計	+75	+15

鉄鋼	+40
アルミ板	+5
素形材	$\Delta 10$

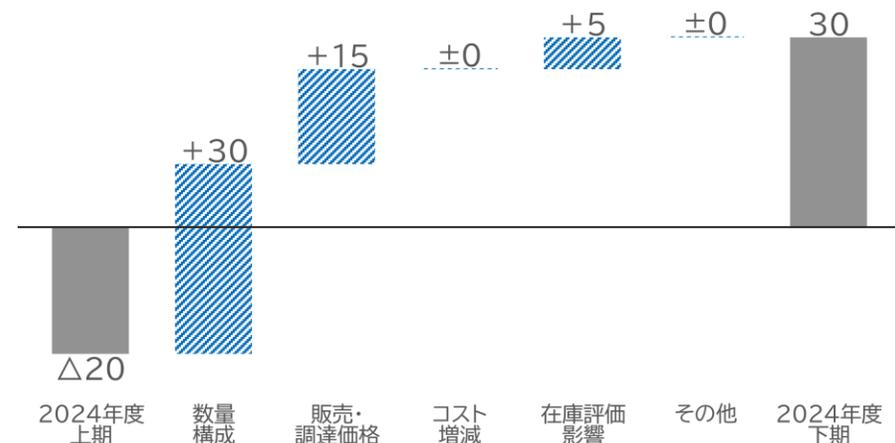
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳 主要セグメント

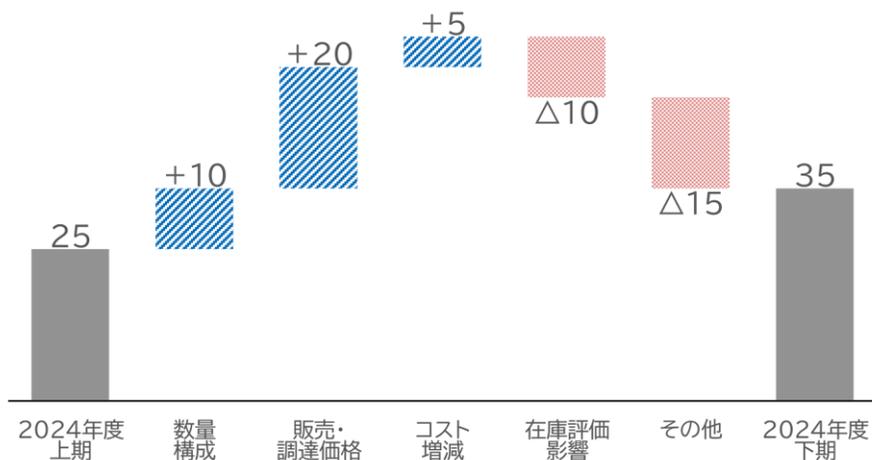
鉄鋼



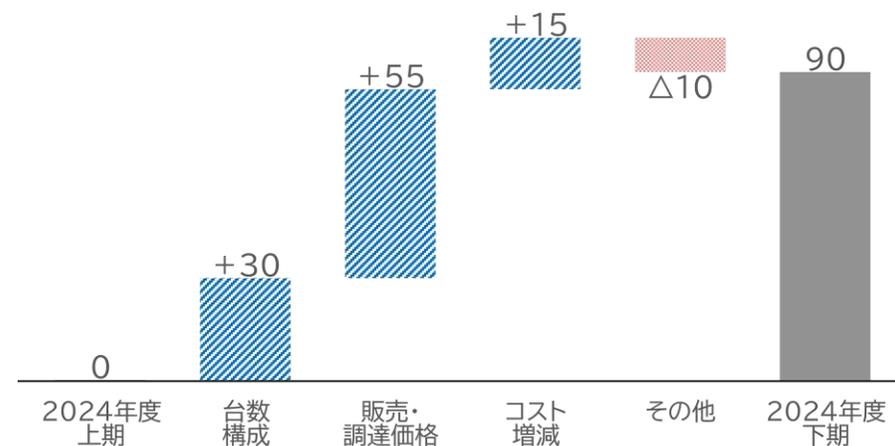
アルミ板



素形材



建設機械



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)
設備投資	計上	1,081億円	973億円	1,052億円	1,150億円	1,150億円
	支払	1,564億円	989億円	948億円	1,250億円	1,250億円
減価償却費		1,051億円	1,125億円	1,190億円	1,250億円	1,250億円

純資産比率	32.0%	34.0%	38.6%		40%程度
有利子負債(リース含)	9,738億円	9,172億円	8,734億円	8,500億円	8,900億円
グロスD/Eレシオ ※1	1.19倍	1.00倍	0.83倍		0.8倍程度

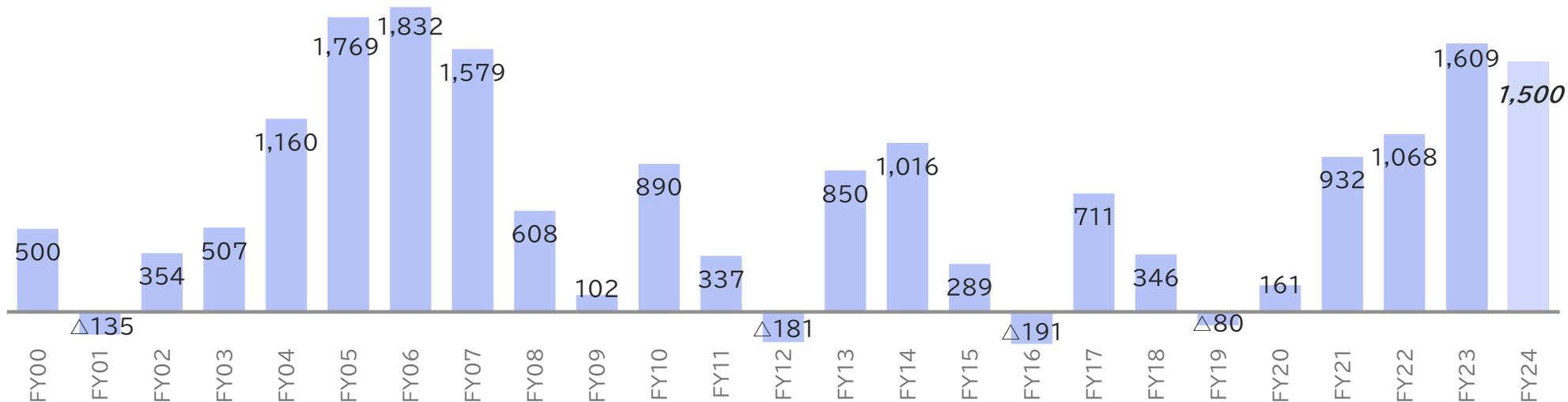
営業キャッシュフロー	1,688億円	1,196億円	2,052億円	1,500億円	1,100億円
投資キャッシュフロー	△ 1,615億円	△ 972億円	△ 537億円	△ 1,500億円	△ 1,500億円
フリーキャッシュフロー	72億円	224億円	1,515億円	0億円	△ 400億円
現預金残高	2,605億円	2,033億円	2,787億円	2,050億円	2,050億円

1株当たり当期純損益	160.23円	183.80円	277.38円	303.83円	304.09円
ROE ※2	7.9%	8.4%	11.1%	10.8%程度	10.8%程度
ROIC ※3	4.7%	4.9%	6.7%	6.5%程度	6.5%程度

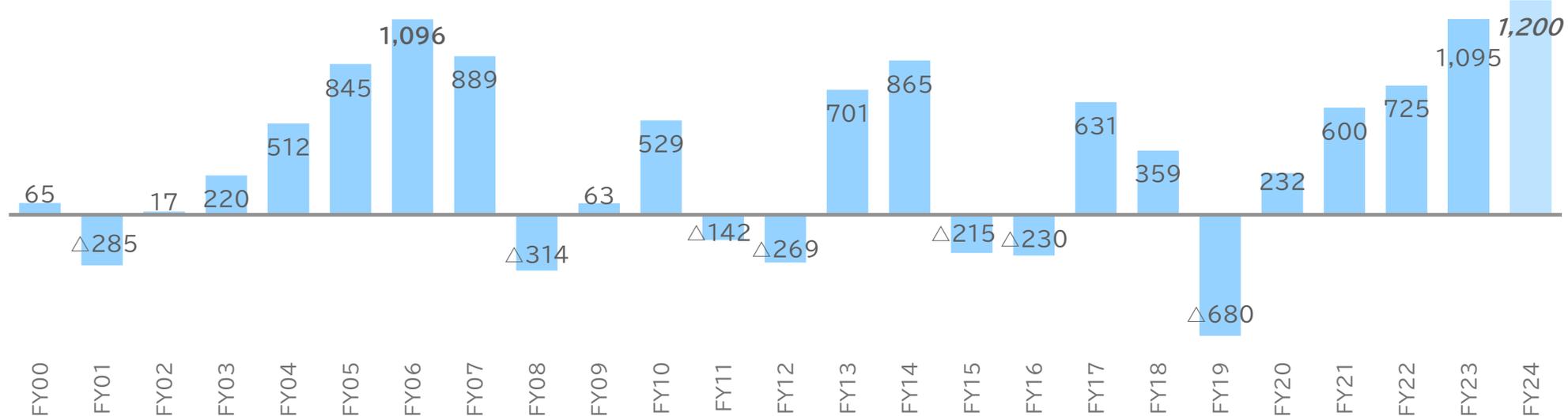
※1:グロスD/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2:親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3:税引後事業利益/投下資本

(単位：億円)

【経常損益】



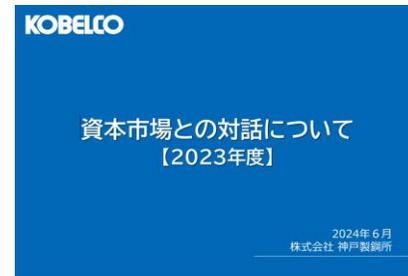
【親会社株主に帰属する当期純損益】



資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2023年度版(2024年6月公表) : [capital_markets_23.pdf \(kobelco.co.jp\)](https://www.kobelco.co.jp/capital_markets_23.pdf)



社会からの評価 (主なもの)

◆ FTSE4Good Index Series
(2021年6月～)



FTSE4Good

◆ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
(2022年3月～)



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

◆ FTSE Blossom Japan Index
(2021年6月～)



FTSE Blossom Japan

◆ CDP
(2020年12月～)



「気候変動」で「A-」の評価を
4年連続で獲得

◆ ディスクロージャー優良企業

ディスクロージャー
2023年度 優良企業



SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

◆ MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※
(2022年6月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX

◆ MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN) ※
(2022年12月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

<p>KOBELCOが 実現したい未来</p>	<p>「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来</p> <p>安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。</p>								
<p>KOBELCOの 使命・存在意義</p>	<p>KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命</p> <p>個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。</p>								
<p>KOBELCOの 3つの約束</p>	<p>KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します 								
<p>KOBELCOの 6つの誓い</p>	<p>「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 高い倫理観とプロ意識の徹底</td> <td>3. 働きやすい職場環境の実現</td> </tr> <tr> <td>2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献</td> <td>4. 地域社会との共生</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">品質憲章</td> <td>5. 環境への貢献</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. ステークホルダーの尊重</td> </tr> </table>	1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現	2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生	品質憲章	5. 環境への貢献		6. ステークホルダーの尊重
1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現								
2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生								
品質憲章	5. 環境への貢献								
	6. ステークホルダーの尊重								

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料の Availability や市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化